

11 月 15 日 CVV 定例会議事要旨(案)

日時：2024 年 11 月 15 日(金) 午後 5 時 30 分から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者（順不同・敬称略）：22 名（会員・会友）

古田・川谷・青木・祝・栗田・先本・下土居・鈴木巖・鈴木威・高田・武・田中・友廣・夏秋・
野坂・南荘・坂東・河野・阿部・澁谷・荒武・黒山

<定例会資料>

- ① 9 月 17 日定例会議事要旨（案）（黒山）
- ② 2024 年度 CVV 会計報告（10.30 中間）
- ③ 2024 年度土木施設調査報告
- ④ 市民向け広報・見学会企画グループ 第 3 回打合せ&現地視察
- ⑤ 阪神淡路大震災 30 周年見学会のご案内（チラシ）
- ⑥ 技術継承 G 及び自治体支援 G 合同会議メモ
- ⑦ CVV メンバーが手掛けた論文、著書、講演、講義などの事例
- ⑧ 令和 6 年度技術スペシャリスト会議議事次第（案）

<主な議事>

代表あいさつに引き続き黒山が資料確認した。その後の議事は以下のとおり。

1. 川谷幹事長がスライドに基づいて自身の経歴を紹介した（約 33 分）。質疑は以下のとおり。（川谷）
 - ・次回以降はどうするのか（南荘）
 - CVV の活動報告や会員の経歴紹介を順次発表してもらいたいと考えている。（川谷）
 - 全体の項目やスケジュールを代表、幹事長と事務局とで調整し、その資料をもとに次回定例会で協議してはいかがか。（黒山）
 - 地盤工学会若手セミナーでの発表内容を加えてはいかがか。（夏秋）
2. 高田会員が資料②に基づいて中間の会計報告を行った。
3. 栗田会員が資料③に基づいて、10 月に開催した見学会の概要を報告した。なお、黒山から報告書をまとめる際、施設管理者への確認を依頼した。
4. 祝会員が資料④、⑤に基づいて、市民向け見学会の概要や今後の予定を紹介した。現時点での参加者は 18 名で、CVV はグループメンバーを中心に 10 名程度で対応する予定。
 - ・スタッフとわかるように腕章などを用意するのか。（高田）
 - 検討中である。（南荘）
 - 関西支部で借りるなど CVV で物を持たないようにしてもらいたい。（黒山）
 - 支部が所有するハンディースピーカーと併せて、ビブスを借用できないか検討する。（青木、南荘）
5. 夏秋会員が資料⑥に基づいて、技術継承 G 及び自治体支援 G の合同会議での協議結果を報告した。また、未執筆の方々に「CVV な男たち・女たち」への投稿を依頼した。CVV メンバーが手掛けた論文、著書、講演、講義事例などをまとめた資料⑦を改定したことを紹介した。本資料の取り扱いについては今後検討する。（夏秋）
6. その他

- ・「阪神高速未来へのチャレンジプロジェクト助成」の申請経緯や今後のスケジュールを紹介した。
12月2日に合否が決定する。なお、次年度以降も継続して申請できる見込み。(川谷)
- ・従前の CVV 一斉メールの種別（全員、会員、幹事）を説明するとともに今後の取り扱いを協議し、幹事用の一斉メールをなくすことを決定した。(川谷)
- ・新規会員に一斉メールの仕組みや会員がどのグループに所属しているかなどをしっかりと周知したほうが良い。(夏秋)
- ・CVV メンバーが大学、高専に出向き、震災での体験や対応を紹介する企画について、明石高専から問い合わせが届いているが、詳細は今後検討するので協力いただきたい。(川谷)
- ・資料⑧に基づいて先本会員が近畿地方整備局の若手職員とのコラボ企画（船による大阪市内の橋巡り）の概要を紹介した。
- ・次回は1月14日（火）に開催する。

文責：黒山